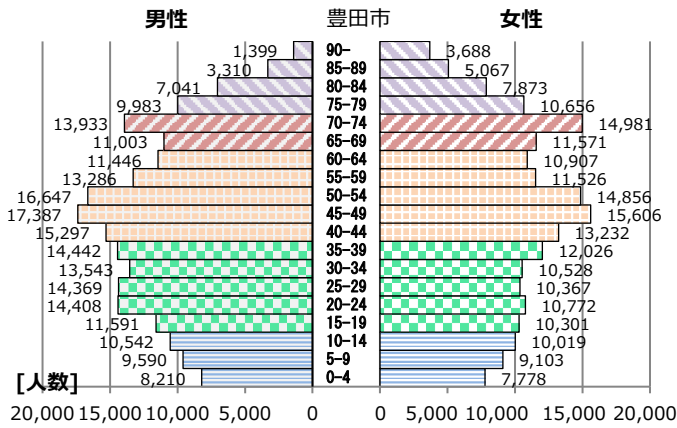


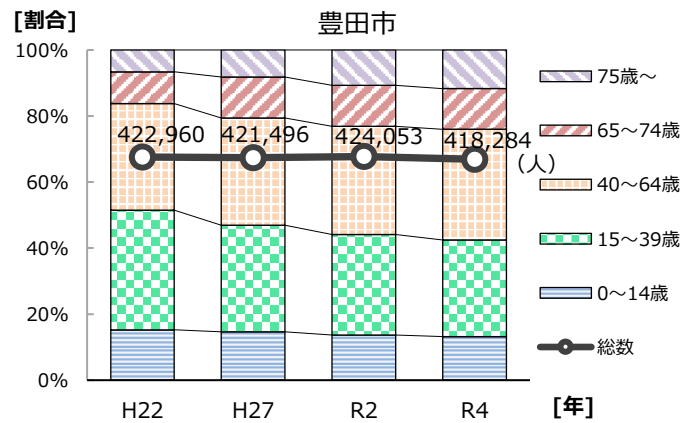
若園中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



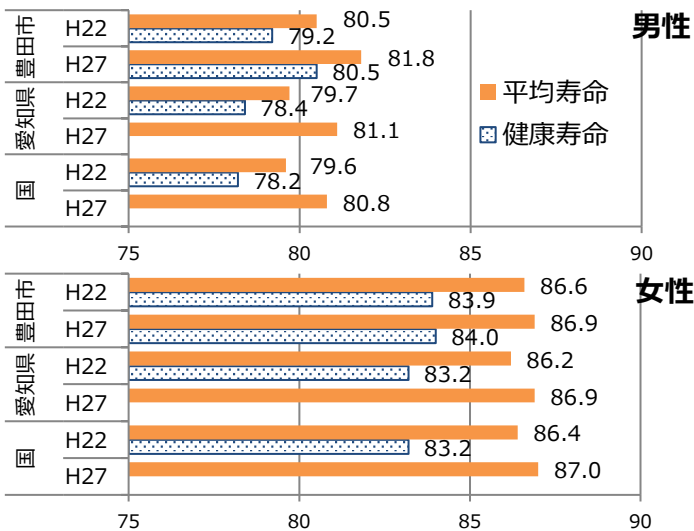
②人口推移 (各年4月1日)



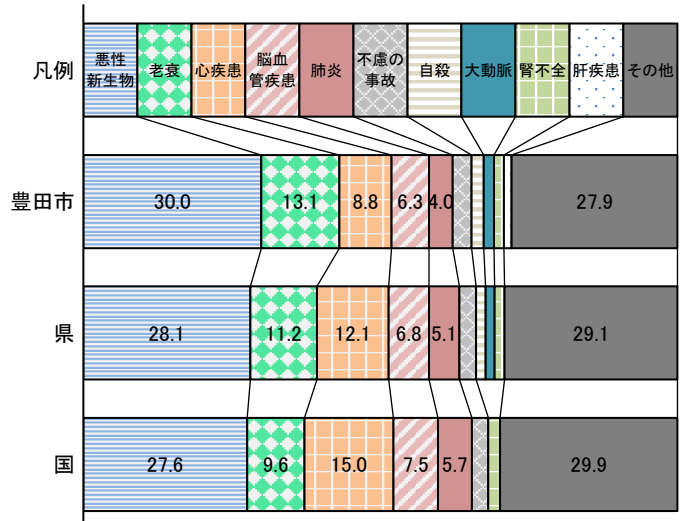
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性217,427人、女性200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

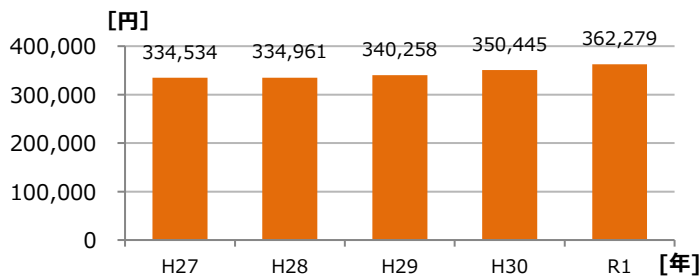


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

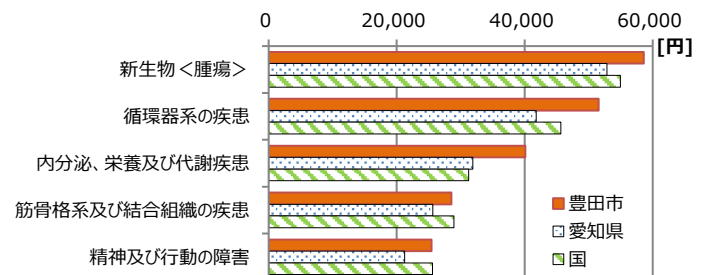


国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

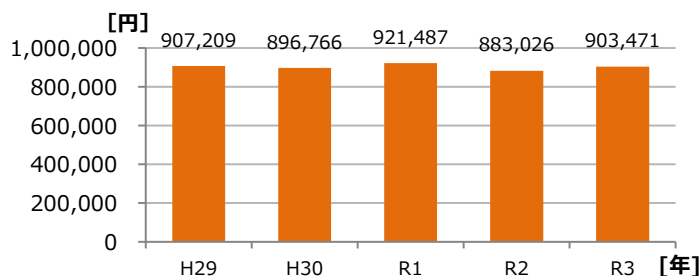


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

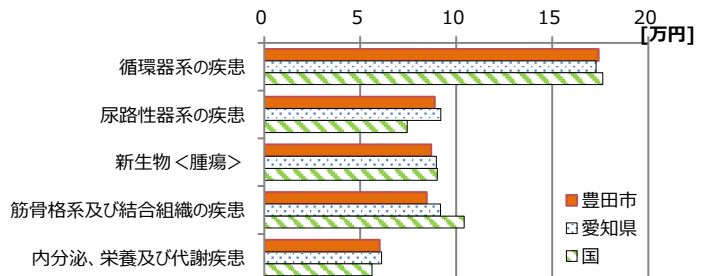


後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

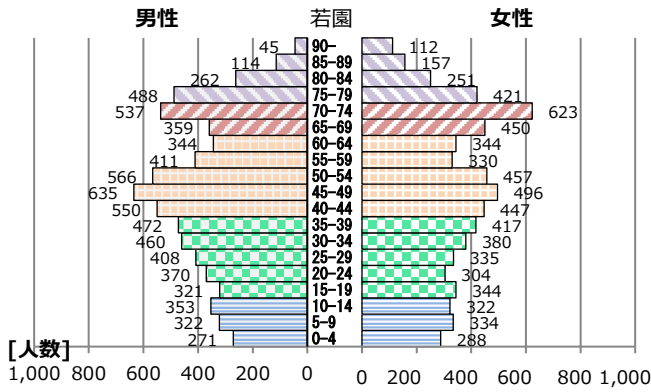


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

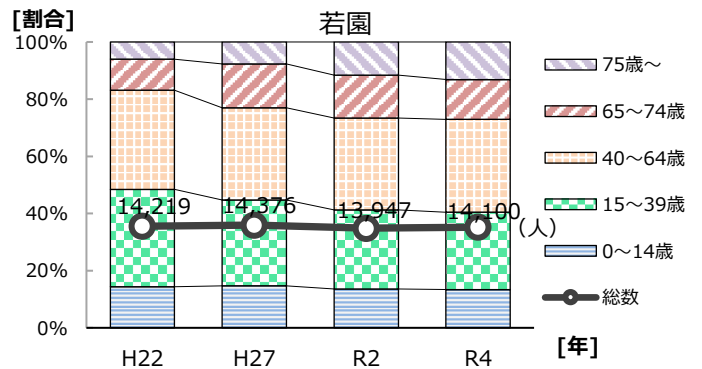


● 若園地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



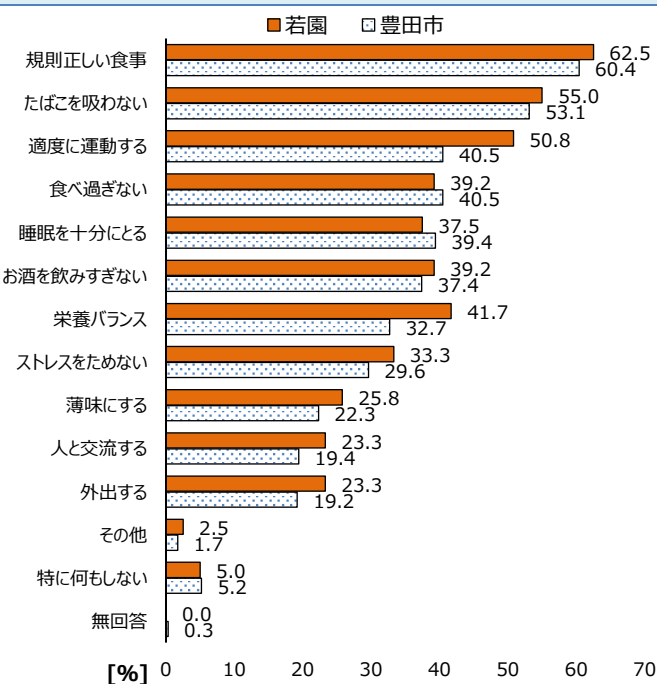
・総人口：14,100人（男性7,288人、女性6,812人） ・世帯数：5,863 ・高齢化率：27.1%
 ・要介護認定率：12.6%（令和4年10月1日） ・外国人：330人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

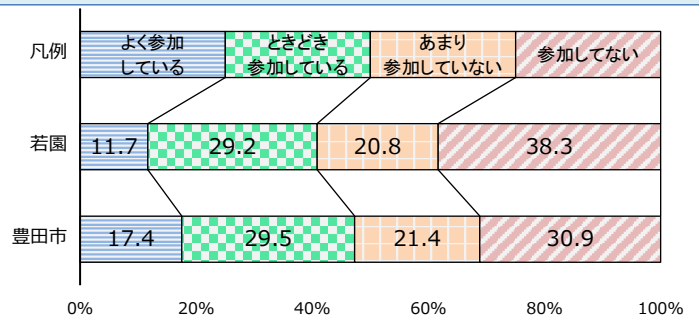
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・3自治区
地域課題解決事業	・地震時の減災対策普及事業(防災対策)、地域で取り組む防災対策事業(防災対策)、青色回転灯を使った地区防犯パトロール活動(防犯対策)
交流館	・自主グループ12グループ（うち健康・スポーツは1グループ）
ヘルスサポートリーダー	・会員数9人 元気アップ教室自主グループ支援を実施。また、交流館等で健康づくりを啓発
高齢者クラブ	・2クラブ
ふれあいサロン	・4サロン
元気アップ教室自主グループ	・自治区：吉原町、中根、花園町 ・それ以外：元気アップ若園(交流館)
その他	・地元企業が地域貢献を活発に行っており、平成28年度からは「健康づくり」の要素も付加して実施 ・令和元年度「健康づくり計画」作成

市民意識調査(令和3年度)

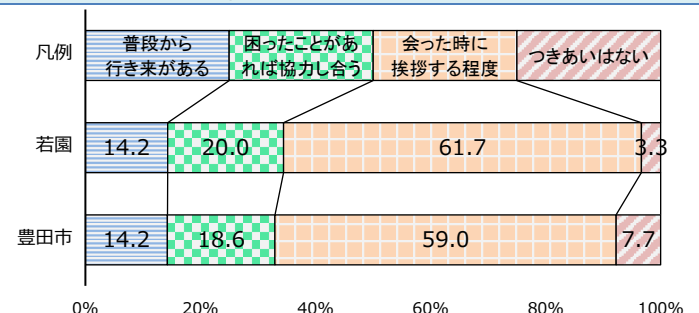
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

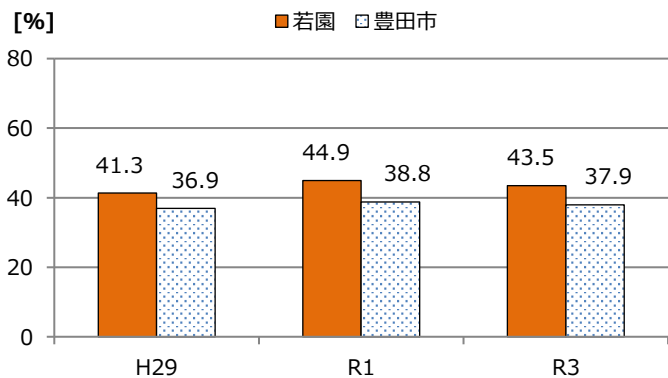


⑮実際の近所づきあい

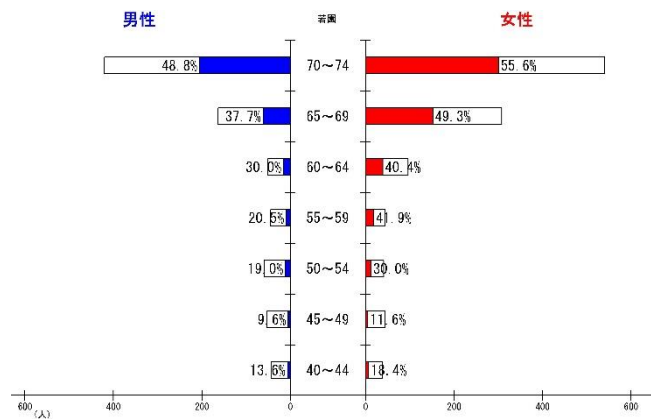


豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

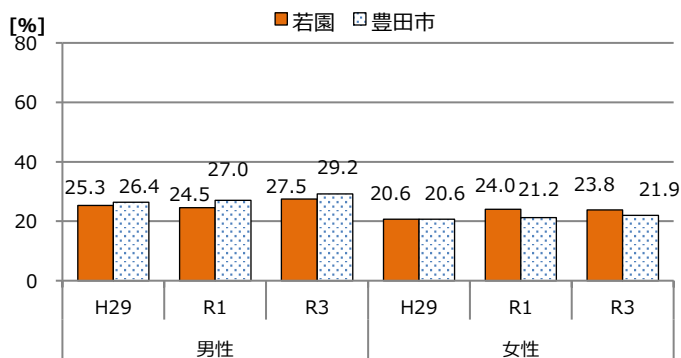
⑬ 健診受診率



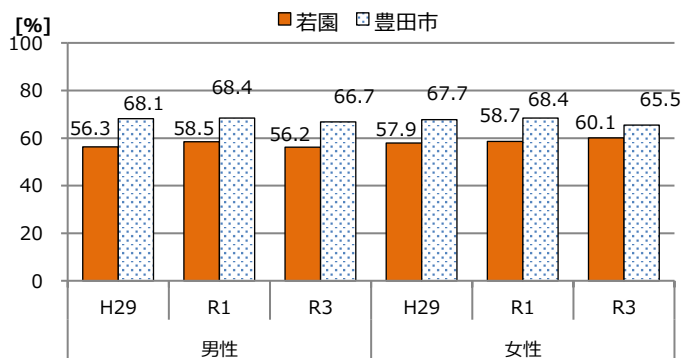
⑭ 年齢別受診者数(対象者数 1,901人,受診者数 827人)



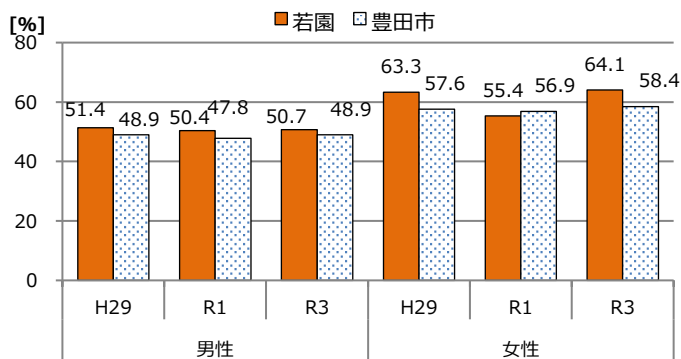
⑮ BMI (25以上)



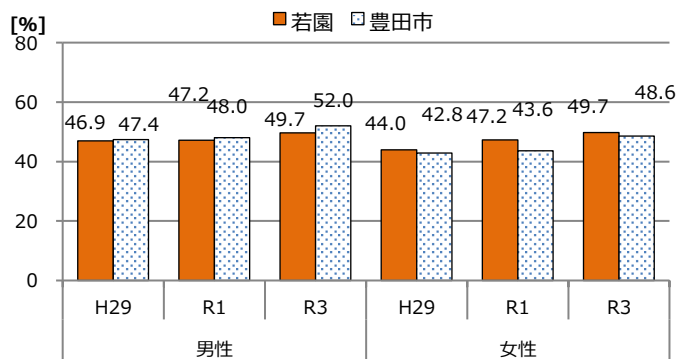
⑯ HbA1c (5.6%以上) *糖尿病の指標の検査項目



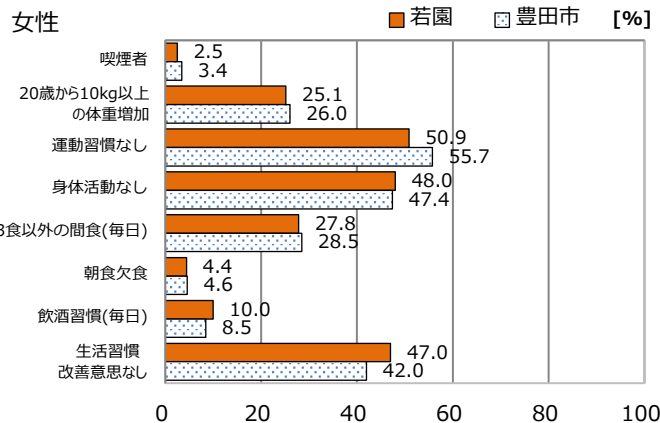
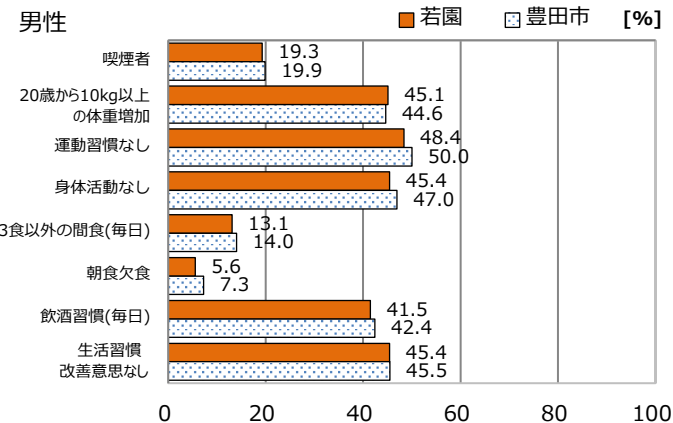
⑰ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



⑱ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



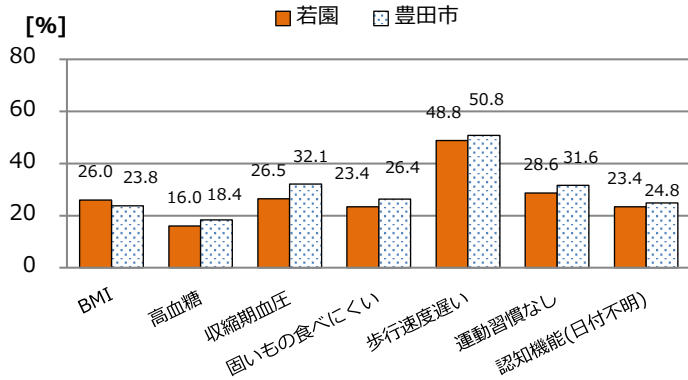
⑲ 問診



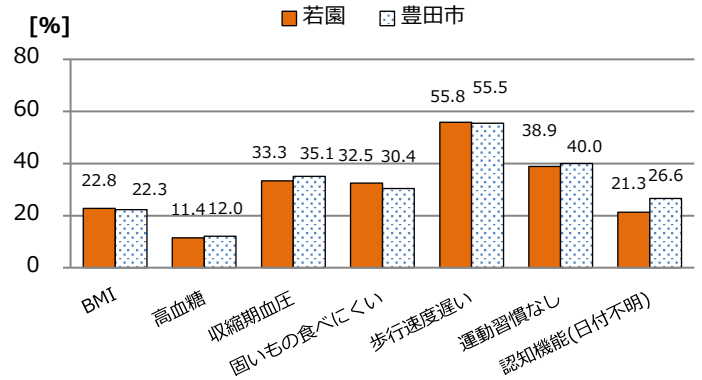
⑳ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	生活習慣改善意思なし
	女性	LDL、生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	朝食欠食
	女性	喫煙、運動習慣なし

㉔男性



㉕女性

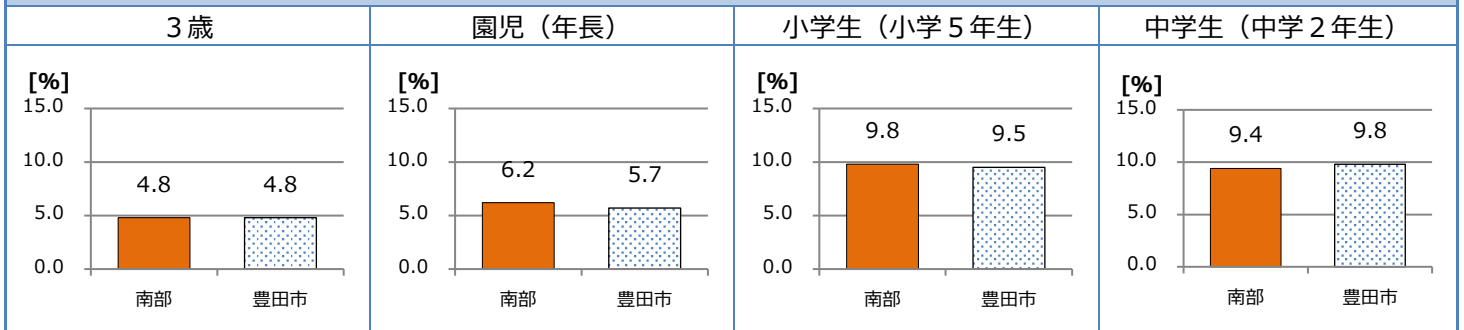


【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上
 【地区の受診者数】 723 人(男性 381 人、女性 342 人)

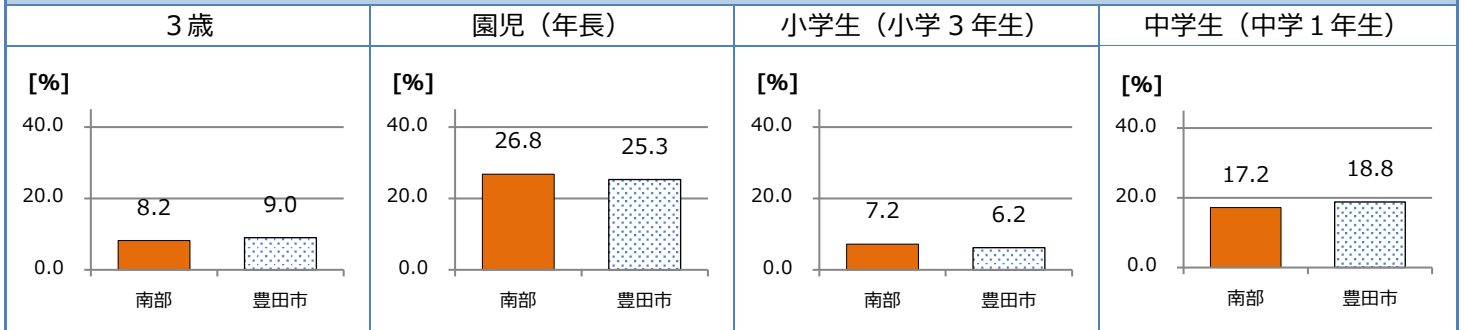
子ども 健康診査(令和3年度)

【南部】 上郷・末野原・高岡・前林・竜神・若園

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査の受診率は経年的に市より高い。今後も更なる受診率向上に向けた取組が必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査では、男女共に LDL コレステロール、女性の BMI 及び収縮期血圧の該当者割合が市より高く、年齢調整による国との比較では男女ともに「生活改善意思なし」の割合が高いため、食習慣と合わせて運動習慣について改善につながる啓発や取組を行う必要がある。
- ・要介護認定率は市より低い。高齢化率は市より高いため、今後高齢化率の更なる上昇に伴い、要介護認定率の急増が懸念される。よって、元気アップ教室の拡大や元気アップ教室の自主グループ活動の活性化等の運動習慣定着に向けた取組が必要である。
- ・市民意識調査の「自治区・地域活動」への参加割合が市より低いことから、自治区の既存事業等に健康づくりの要素を取り入れ、家族ぐるみ・地域ぐるみの健康づくりを推進していくことが有効であると考えられる。